

(3) その他 第2期特定健康診査等実施計画(素案) について



第2期実施計画(素案)について

1 計画策定の趣旨

- 国民皆保険を堅持し、医療制度を持続可能なものとする。
- 健康の確保と医療費の伸びを抑制

生活習慣病の予防

特定健康診査と特定保健指導の適切かつ有効な実施

※ 第1期に引き続き、第2期計画を策定

2 生活習慣病対策の必要性

- 年齢が高くなるにつれ生活習慣病の外来受診率が増加
- 75歳を境に入院する割合が増加

医療費の伸びを抑制

生活習慣病の予防を進め、通院患者の減少と入院を回避

函館市国保の現状と第1期計画の実施状況

被保険者数の推移

- 被保険者数は、年々減少傾向
- 一方、40歳～74歳(特定健康診査対象者)の割合は、増加傾向
→ 特定健診・特定保健指導の適切かつ有効な実施が
強く求められる

医療費の状況

- 医療費(構成割合)の上位疾病
外来:腎不全、高血圧性疾患、糖尿病
入院:虚血性心疾患、脳梗塞などの循環器系疾患
- 入院医療費は、全国平均を大きく上回る
→ 生活習慣病の予防と重症化を未然に防ぐ対策が重要

標準化死亡比(SMR)の状況

- 第1位は腎不全(全国水準100に対し150.5)
→ 高血圧症や糖尿病(慢性腎疾患の基礎疾患)の早期発見と
重症化予防対策が急務

生活習慣の状況

- 「1日1時間以上の歩行等」の運動面の割合＝全道平均より高い
- 一方、「就寝前2時間以内の夕食」等の不適切な食生活の割合
＝全道平均より高い
→ 正しい食習慣への改善につなげる意識啓発が必要

特定健康診査の受診状況

- 男性の受診率が低く、40代・50代の受診が低調
→ 男性の受診率向上と働き盛り世代への効果的な受診勧奨と
受診環境の整備が求められる

第1期目標値と実績値

区分		H20	H21	H22	H23	H24
特定健康診査	目標値	25.0%	35.0%	45.0%	55.0%	65.0%
	実績値	20.0%	18.9%	22.1%	25.1%	
特定保健指導	目標値	45.0%	45.0%	45.0%	45.0%	45.0%
	実績値	8.1%	16.4%	9.5%	8.7%	

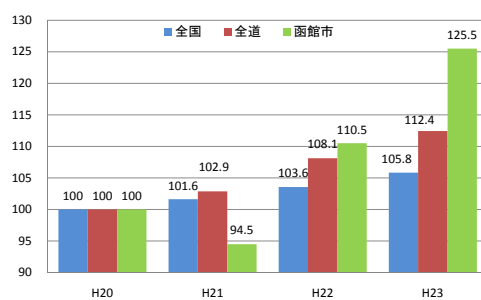
実施率を向上させるための有効な受診勧奨等が重要な課題

【参考】受診率（全国・全道・函館市）（単位：％）

区分	H20	H21	H22	H23
全国	30.9	31.4	32.0	32.7
全道	20.9	21.5	22.6	23.5
函館市	20.0	18.9	22.1	25.1

受診率の伸びの状況

【H20(基準年度=100)としたときの全国・全道・函館市】



所見有りの検査項目

- 所見有りの第1位項目 = 男性:「収縮期血圧」
女性:「ヘモグロビンA1c」
- 「収縮期血圧」、「ヘモグロビンA1c」の所見有りの割合 = 全道平均と比べ高い
→ 要因を分析し、生活習慣病の発症を未然に防ぐ対策が求められる

メタボリックシンドローム該当者・予備群の状況

- 該当者・予備群の割合 = 男性:約2人に1人、女性:約7人に1人
- 該当者の割合 = 男女とも、全道平均と比べ高い
→ バランスのとれた食事や適度な運動など、生活習慣の改善を行うサポートが重要

特定健康診査・特定保健指導の改善状況

●メタボ該当者・予備群からの改善状況 ●特定保健指導利用者の改善状況

(H21~H23 合計)

区分	人数, 割合
前年度は該当者等	7,547人
うち当該年度は非該当者等	1,285人
改善割合	17.0%

(H21~H23 合計)

区分	人数, 割合
前年度の利用者	589人
うち当該年度は非対象者	124人
改善割合	21.1%

→ 効果を広くPRL、未受診者への動機付けや対象者への継続的な受診を誘導することが大切

第2期計画の目標

1 年度別目標値

区分	H25	H26	H27	H28	H29
特定健康診査	30.0%	37.5%	45.0%	52.5%	60.0%
特定保健指導	20.0%	30.0%	40.0%	50.0%	60.0%

※ 第2期計画期間の最終年度(平成29年度)における市町村国保の目標値である特定健康診査実施率60%、特定保健指導実施率60%の達成に向け、段階的に設定

2 目標達成に向けた取組の方向性

特定健康診査

(1) 受診勧奨の実施

【これまでの主な取組の状況】

- 受診券を対象者全員に送付
- 「けんしんカレンダー」の全世帯配布
- 「市政はこだて」に毎月案内記事を掲載
- カラー電車広告の実施
- 勧奨はがきの送付
- 個別電話勧奨の実施
- 若年層への受診勧奨・アンケートの実施
- 40歳到達者への受診勧奨の実施

【今後の取組の方向性】

- 受診勧奨はがきの継続
- 個別電話勧奨の継続
- 未受診者の意識・意向の把握

【実効性の向上】
送付時期・対象者の
絞り込み等を工夫

(2) 受診環境の整備

【これまでの主な取組の状況】

- 受診料の無料化
- 集団健診の実施とともに、市内指定医療機関も実施
- 土曜日、日曜日および夜間(各月1回)に集団健診を実施
- 胃がん検査(集団健診時)同時実施会場の増設
- 健診の充実を図るため、検査項目に市独自項を追加
- 新たな魅力付けのため、オプション検査を設定

【今後の取組の方向性】

- 休日健診の回数増
- 検査項目の充実

(受診しやすい環境)

男性と働き盛り世代の
受診率の向上

付加価値の向上

(3) 情報提供の充実および広報の強化

【これまでの主な取組の状況】

- 市広報番組(ラジオ)等に出演
- 市民健康教室開催時におけるリーフレットを配布
- 高齢者大学において健診をPR
- 健診会場における啓発のぼりの事前掲示

【今後の取組の方向性】

- 40歳未満の方への意識啓発

40歳代の受診率の向上

- 健診結果通知表の工夫

・継続受診の必要性や
健診結果と生活習慣病の
リスク度を分かりやすく

- 所見有りの方の改善状況などを積極的にPR

・市ホームページ
・広報誌などを活用

特定保健指導

(1)利用勧奨の実施

【これまでの主な取組の状況】

- 利用勧奨文書の送付
- 個別電話勧奨の実施

【今後の取組の方向性】

- 夜間における個別電話勧奨の積極的な実施

(2)利用環境の整備

【これまでの主な取組の状況】

- 利用者のニーズに合わせ夜間も対応

【今後の取組の方向性】

- 面接については、その都合の良い時間(夜間、休日を含む。)で実施
- 各家庭での保健指導や町会館等における面接会も実施

(3) 食事や運動の体験型サポートの実施

【これまでの主な取組の状況】

- 栄養(ヘルシーランチ)実践教室や運動体験教室の開催

【今後の取組の方向性】

- ヘルシーランチのメニューや運動体験のバリエーションを充実
- 改善状況や実際の利用者のメッセージ(体験談)などを、積極的にPR